

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-053066

(43)Date of publication of application : 26.02.1999

(51)Int.Cl.

G06F 1/26
H04N 5/64

(21)Application number : 09-204230

(71)Applicant : NEC GUMMA LTD

(22)Date of filing : 30.07.1997

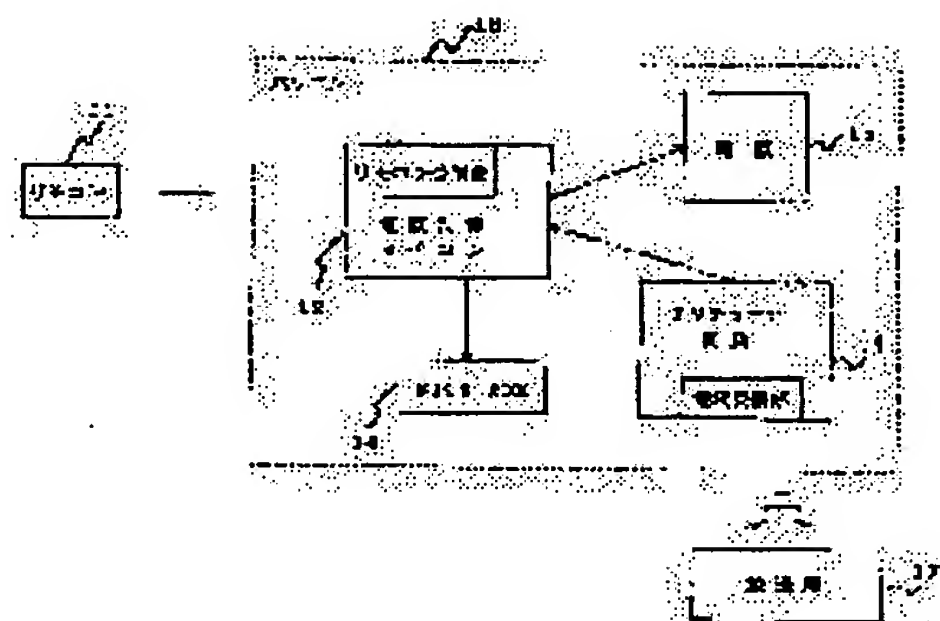
(72)Inventor : SUNAGA ATSUSHI

(54) PERSONAL COMPUTER AND ACTIVATING METHOD THEREFOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To sense and receive an emergency broadcast immediately through automatic starting and to generate an alarm by performing ON/OFF control over the power source with the control signal outputted by a TV tuner circuit when the emergency broadcast is received.

SOLUTION: This personal computer 16 which can perform ON/OFF control over the power source through remote control 11 turns on the power source 15 by a power source control microcomputer 12 when the power-ON output signal is sent out of the remote control 11 to start the personal computer 16. Further, when the TV tuner circuit 14 receives an emergency broadcast radio wave, the TV tuner circuit 14 sends a signal to the power source control microcomputer 12, which once receiving the output signal from the TV tuner circuit 14, turns on the power source 15 of the personal computer with a signal and then sends a signal to BIOS.ROM 13 at the same time to initialize the TV tuner circuit 14 and sounds an alarm at the same time.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.07.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.09.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-53066

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月26日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 1/26

G 0 6 F 1/00

3 3 4 E

H 0 4 N 5/64

H 0 4 N 5/64

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-204230

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月30日

(71) 出願人 000165033

群馬日本電気株式会社

群馬県太田市西矢島町32番地

(72) 発明者 須永 淳

群馬県太田市西矢島32番地 群馬日本電気
株式会社内

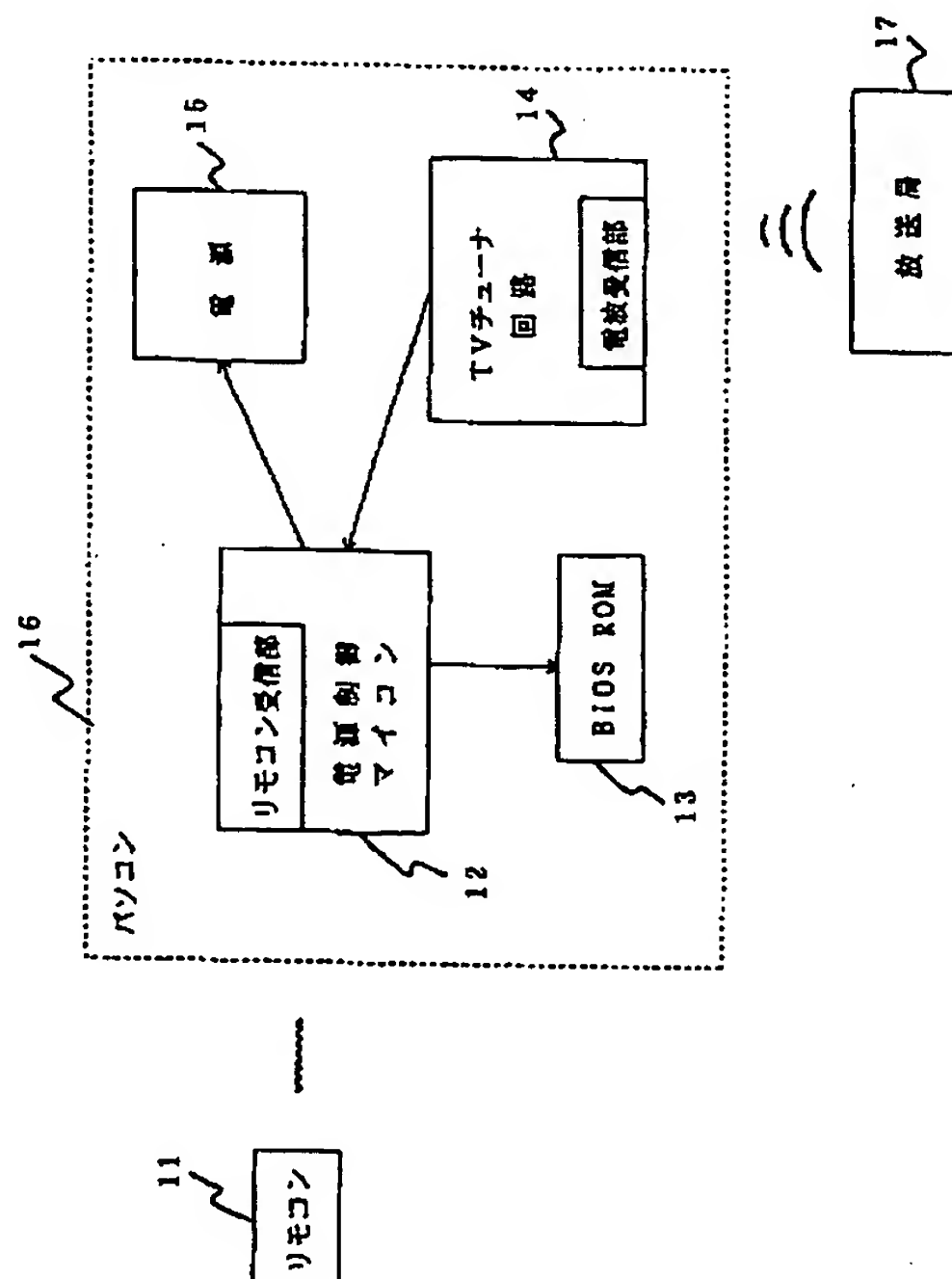
(74) 代理人 弁理士 岩佐 義幸

(54) 【発明の名称】 パーソナルコンピュータおよびその起動方法

(57) 【要約】

【課題】 テレビ放送の受信が可能なマルチ機能を持つパーソナルコンピュータにおいて、電源OFF状態であっても緊急放送が確認されたら、ただちにパーソナルコンピュータを自動起動して緊急放送を受信し、警報を発する。

【解決手段】 パーソナルコンピュータ16は、緊急放送受信機能付きTVチューナ回路14と、TVチューナ回路14から出力される制御信号で電源のON/OFF制御を行う電源制御マイコン12と、電源制御マイコン12から出力される起動信号によりパーソナルコンピュータ16を自動起動させるプログラムを格納するBIOS ROM13とを備えている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】テレビ機能を有するパーソナルコンピュータにおいて、

緊急放送受信機能を有するTVチューナ回路と、緊急放送受信時に前記TVチューナ回路から出力される制御信号により電源のON/OFF制御を行う電源制御回路とを備えることを特徴とするパーソナルコンピュータ。

【請求項2】請求項1記載のパーソナルコンピュータにおいて、前記電源制御回路から出力される起動信号によりパーソナルコンピュータを自動起動させるプログラムを格納した記憶回路を備えることを特徴とするパーソナルコンピュータ。

【請求項3】請求項2記載のパーソナルコンピュータにおいて、前記電源制御回路から出力される起動信号によりパーソナルコンピュータが自動起動する際に警告音を鳴らすことを特徴とするパーソナルコンピュータ。

【請求項4】請求項1、2または3記載のパーソナルコンピュータにおいて、前記電源制御回路はリモコン受信回路を備え、リモコンより出力される制御信号により電源のON/OFF制御を行うことを特徴とするパーソナルコンピュータ。

【請求項5】テレビとして使用できるパーソナルコンピュータの起動方法において、テレビ機能を実現するTVチューナ回路に緊急放送が来たかを監視させ、TVチューナ回路が緊急放送を感知したらパーソナルコンピュータの電源をONにしてパーソナルコンピュータを自動的に起動することを特徴とするパーソナルコンピュータの起動方法。

【請求項6】請求項5記載のパーソナルコンピュータの起動方法において、パーソナルコンピュータが自動起動する際に警告音を鳴らすことを特徴とするパーソナルコンピュータの起動方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、TVチューナ回路を内蔵したパーソナルコンピュータに関し、特に緊急放送受信機能を搭載したパーソナルコンピュータに関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在、家庭用テレビやラジオでは、災害などの緊急放送が発せられると、すでに公開されているような、緊急放送の符号検出装置を持つテレビ、例えばメインスイッチがOFFの時は、チューナ装置、音声検波装置、符号検出装置へ待機用電源から電力を供給し、常に動作状態とし、緊急放送の受信を待機し、緊急放送を受信すると、ただちに通常のテレビ受信状態にするという方法と、緊急放送を感知すると音量調節装置、映像調節装置を用い、映像と音声を最適な状態へ自動調節する方法により（例えば、特開昭58-134588号公報参照）、テレビ、ラジオの電源を自動的にONにし、

2

緊急放送を受信し、警報を発することができる。

【0003】また、TVチューナやFAXモデム等を内蔵したマルチメディア機能を持つパーソナルコンピュータにおいて、FAXの受信によりパーソナルコンピュータを自動起動することはすでに公知である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述したTVチューナ回路を内蔵したパーソナルコンピュータにおいては、家庭用テレビのように、パーソナルコンピュータが緊急放送を感知して自動起動し、緊急放送を受信して警報を発することはできないという問題があった。

【0005】パーソナルコンピュータで緊急放送を感知した場合は、直ちにテレビ機能に切り替えて速やかに緊急放送を受信し、警報を発しなければならないが、パーソナルコンピュータの電源が投入されていない場合には、その電源を強制的に投入することが必要であり、更に緊急放送が始まることを放送する前に知らせる必要がある。その理由としては、緊急放送であるため、パーソナルコンピュータが電源OFFの状態であっても、直ちに緊急放送を発する状態にしなければならず、また同時に、緊急放送であることを知らせなければならないからである。

【0006】この発明の目的は、テレビ放送の受信が可能なマルチ機能を持つパーソナルコンピュータにおいて、緊急放送を感知し、自動起動して、直ちに緊急放送を受信し、警報を発するパーソナルコンピュータを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】この発明は、テレビ機能を有するパーソナルコンピュータにおいて、緊急放送受信機能を有するTVチューナ回路と、緊急放送受信時に前記TVチューナ回路から出力される制御信号により電源のON/OFF制御を行う電源制御回路とを備えることを特徴とする。

【0008】また、この発明は、上述したパーソナルコンピュータにおいて、前記電源制御回路から出力される起動信号によりパーソナルコンピュータを自動起動させるプログラムを格納した記憶回路を備えることを特徴とする。

【0009】TVチューナ回路は、緊急放送を感知すると、電源制御信号を出力し、その信号により、電源制御回路はパーソナルコンピュータの電源をONにし、自動起動する。これにより、テレビ放送の受信が可能なマルチ機能を持つパーソナルコンピュータにおいて、電源を切った状態でも緊急放送を受信し、警報を発することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】次に、この発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0011】図1は、この発明のパーソナルコンピュー

3

タの実施の形態を示すブロック図である。図1において、電源制御回路は、リモコン受信における電源制御マイコン12に該当し、パーソナルコンピュータ16を自動起動させるプログラムが格納された記憶回路は、BIOS ROM13に該当する。

【0012】リモコン11で電源ON/OFFの制御を行うことのできるパーソナルコンピュータ16は、リモコン11より電源ONの出力信号が出されると、電源制御マイコン12により電源15をONにし、パーソナルコンピュータ16を起動することができる。そのパーソナルコンピュータ16をテレビとして使用することができるように制御しているTVチューナ回路14に、放送局17より発せられる緊急放送が来たか否かを監視させる。

【0013】緊急放送とは、テレビやラジオ放送の音声チャンネルによって行われ、災害の予報や発生などを通常番組を中断して放送するものである。そのため緊急放送であることを区別するために、放送の前後に特殊な符号を付加している。したがって、TVチューナ回路14は、この特殊な符号を監視し、緊急放送が来たか否かを知ることができる。

【0014】TVチューナ回路14が緊急放送電波を感知したら、TVチューナ回路14は、電源制御マイコン12へ信号を送る。電源制御マイコン12は、TVチューナ回路14からの出力信号を受信すると、信号でパーソナルコンピュータの電源をONにする公知の方法を使い、電源15をONにする。電源制御マイコン12は、電源15をONにした後、BIOS ROM13へも同時に信号を送る。

【0015】BIOS ROM13は、電源15がONになったことを感知すると、格納しているプログラムを実行し、TVチューナ回路14の初期化、スピーカ音量の調整などテレビ機能が実現できる状態にシステムを起動する。また同時に警告音を鳴らすことにより、緊急放

4

送を受信したことを知らせ、ただちに緊急放送を受信し、情報を発することができる。

【0016】以上、この発明の実施の形態を図面を参照して説明してきたが、この発明は、この実施の形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲で変更等があってもこの発明に含まれるものとする。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、この発明は、TVチューナ回路を内蔵したパーソナルコンピュータにおいて、パーソナルコンピュータの電源がOFFであっても、緊急放送が発生したら、ただちにパーソナルコンピュータの電源をONにして自動起動し、テレビ機能を実行して緊急放送を受信し警告を発し、また同時に警告音を鳴らして緊急放送であることを知らせることができるという効果を有する。

【0018】したがって、パーソナルコンピュータを持っていれば、この機能を搭載したオプションボードを追加するだけで、緊急放送を受信する専用のテレビを新たに購入しなくても、緊急放送を受信することができるため、コストや設置スペースを削減できる。また、大型家庭用テレビと違って、省スペースであることにより、設置場所を選ばず、寝室や個室等、必要な場所に置くことが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のパーソナルコンピュータの実施の形態を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 11 リモコン
- 12 電源制御マイコン
- 13 BIOS ROM
- 14 TVチューナ回路
- 15 電源
- 16 パーソナルコンピュータ
- 17 放送局

【図1】

